

みながっ子

かしこく やさしく たくましく やりぬく



堂々とした態度で、音やリズムの調和を保ちながら、気持ちの揃った表現をしてくださいました。練習で積み上げてきたものを出し切ることができたのではないのでしょうか。これから、学習発表会に向け、新たな目標をもって取組んでいって欲しいと思います。



10月8日(土)、東広島芸術文化ホールくららで、「第14代ふるさと三永」の発表をしました。

今年は、初めて大ホールを使用することになり、サポートする先生達にとっても初めてのことが多く多少の心配もありましたが、6年生の演奏が、その不安を一掃してくれました。

第十四代ふるさと三永酒まじりの舞台へ

5年生 1年生 社会見学へ



9月26日(月) 5年生が社会見学に行きました。5年生にとって、久しぶりの集団でのバス移動。来月の宿泊学習に向けて、良い練習となりました。見学先は、広島駅オコスタとマツダミュージアム。積極的に質問する等、体験と見学

を通してたくさんのことを学ぶことができました。

翌日27日(火)には、1年生が宮島水族館に行きました。予報通りの雨に、往路は傘をさしての移動となりました。

全てが初めてで、バスの乗り方、船での移動、グループでの見学等、1年生にとって難しいのではないかとと思われることもありましたが、しっかりと話を聞いて行動するよう頑張っていました。最後に見たアシカショーは、おそらく、いつまでも記憶に残っていると思います。



西条柿について学習しました 2年生

東広島市立三永小学校

【全校児童数】

1年1組	24名
2組	25名
2年1組	25名
2組	27名
3年1組	23名
2組	21名
4年1組	24名
2組	25名
5年1組	20名
2組	21名
6年1組	27名
2組	27名
すみれ	6名
たんぽぽ	3名
合計	298名

9月29日(木)の午前中、2年生は昨年度に続いて「干し柿づくり」の学習に行きました。地域の松山様の西条柿で、その作り方や美味しく食べる方法を教えていただきました。その後、実際に柿の実を採らせていただきました。熟した柿の実を採ろうと、一生懸命背伸びする姿がありました。



ギネス記録に参加

日本赤十字社広島県支部の呼びかけで、本校も参加した折り鶴(1本のひもでつないだ長さ)の記録が、15.5797Kmとなり、24日にギネス記録に認定されたという報道がありました。

本校も、平和の願いに賛同し、約1800羽を送りました。この折り鶴は、この後ノートに再生され、ネパールの子ども達に送られるそうです。

秋晴れの下 陸上記録会

10月15日(土)に東広島市内小学生陸上記録会が行われ、本校から15名の選手が参加しました。

短い練習期間でしたが、大会に向けて調整を続けてきました。当日は、出場する仲間を応援し合うとともに、自分のベスト記録に向けて、精一杯力を出し切りました。



11月の行事予定

いよいよ秋本番。芸術の秋、文化の秋、そして食欲の秋。今年こそコロナに邪魔されず、多くの行事や取組が行えることを願います。

日	曜	学校行事	下校時刻変更	14時50分	15時40分
1	火			1・3年生	2・4～6年生
2	水	安全マップ作り4年 心のサポーター			一斉下校
3	木	文化の日			
4	金			1・2年生	3～6年生
5	土	生涯学習フェスティバル			
6	日	生涯学習フェスティバル			
7	月	委員会		1・2年生	3～6年生
8	火			1・3年生	2・4～6年生
9	水				一斉下校
10	木				一斉下校
11	金			1・2年生	3～6年生
12	土	学習発表会	一斉下校14:20		
13	日				
14	月	振替休日			
15	火			1・3年生	2・4～6年生
16	水	はじめてのビジュツカン 4年			一斉下校
17	木	放課後子ども教室			一斉下校
18	金	スクールカウンセラー		1・2年生	3～6年生
19	土				
20	日				
21	月	クラブ		1・2年生	3～6年生
22	火			1・3年生	2・4～6年生
23	水	勤労感謝の日			
24	木	歯科検診4・6年 9:00～			一斉下校
25	金		一斉下校13:10		
26	土	資源回収			
27	日				
28	月			1・2年生	3～6年生
29	火			1・3年生	2・4～6年生
30	水				一斉下校

入学してからずっと、文字の読み書きが苦勞していたA君ですが、三年生になって通級を開始することになりました。

教科の学習と並行して、A君が好きな虫のカルタの読み取り組んでいました。



初めは、他のみんなと違う内容の学習をすることにとまどいを感じていたようですが、目標をきめ、読み書きの力が伸びていくことを実感することで、通級の時間が自分に必要な時間だと感じながら学習することができたようです。

自分の努力が成果と結びつくことを感じる経験は、学習意欲を大きくしていきますが、読み書きの苦手がなくなるわけではありません。

困難さを軽減するには、場面によっては、デジタル教材や代替的手段、ICTを活用することが求められます。

新しい技術や機器の活用も探ることができる教室でありたいと思います。



Q 情緒障害というのはどんな障害ですか？

A 主として心理的な要因による選択性かん黙等のあるものと記されています。

C 「選択性かん黙等って？」あまり聞き慣れないことばかもしれませんが、家では話せて普通に会話もできるのに、学校などの特定の場所では話すことができない状態をいい、場面かん黙とも呼ばれています。

ある日、ことばときこえの教室で学んだ子どものお母さんから電話がありました。それは、小中学校では話すことができなかつた高校生になった女の子が、テレビの街角インタビューで堂々と答えていたという内容のうれしい報告でした。

通級では、彼女が安心して過ごせる場所となるように務め、同年齢の子どもとのペア学習を進めたり、学校生活の中で感じていることを表現する機会を作ったりしていきました。

高校生活ではかん黙の状態はなくなっており、高校生活を謳歌している様子だということでした。

困難なことに対してすぐに答えが見つからないことも多く、遠回りをすることもありますが、安心してチャレンジできる、そんな場所になりたいと思います。

Q 聴覚障害のある子どもたちにはどんな指導を行うのですか？

A 聴覚障害とは、身の周りの音や話し言葉が聞こえにくかったり、ほとんど聞こえなかつたりする状態をいいます。



通級による指導においては、各教科等の大部分の授業を通常の学級で学び、指導上の工夫や個に応じた手立て、教育における合理的配慮を含む必要な支援を受けながら、一部の授業について当該の子どもへの障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために、例えば、音や言葉の聞き取りや聞き分けなど、聴覚を活用することに重点を置いた指導を受けたり、抽象的な言葉の理解や教科に関する学習活動を行ったりしています。

C 現在東広島市では、聴覚に障害のある児童の多くが、難聴学級に在籍しています。

ことばときこえの教室が、東広島市に初めて設置された平成八年ころは当該児童一人では、特別支援学級（難聴学級）の開設が困難でした。そこで、聴覚に障害のある児童の子どもたちが、通級指導教室（ことばときこえの教室）で学んできました。



次回に続く

編集後記

広島緑化センターは、私の住む瀬野の裏山にあり、車で十分もかからないところにあります。

毎年、紅葉の時期になると見に行くものがあるのですが、左に写真を載せました。カラーでないのが申し訳ないのですが、右側が紅葉で左側が桜です。

カラーで見ると、赤とピンクのコントラストが、とても美しいです。この左側の桜は、十月桜といつて、広葉樹が紅葉する頃に、咲き始める桜です。

園内には多くの紅葉する樹木があり、秋の澄んだ空気の中での散策に、良い季節となっております。

